

市の『第五期基本構想・長期計画』（計画期間は2012～2021年度）を策定するために、7～9月に5回にわたって「武蔵野市の将来を考える市民会議」が行われました。この市民会議は、市民からの公募で決定した10名で構成されたものです。10月には市民会議の報告書が出されました。報告書の中身は、市のホームページから見られます。

この報告書をもとに、策定委員会（全6回）がすでに5回開かれています。2月には『討議要綱』が公表され、3月のパブリックコメントを経て、7月には『計画案』が公表されます。

庁内の検討委員会がまとめた報告書『今後の公共施設配置のあり方について』が、11月22日の総務委員会で報告されました。この中では、具体的に21の施設をあげて、今後の方向性が書かれています。例えば、

- ・武蔵野公会堂～「老朽化対策やバリアフリー対応を図るため、……必要な機能を精査した上で、建替えを検討」
- ・吉祥寺美術館音楽室～「美術館の拡充の要否とあわせて、音楽室の移転又は廃止を検討」
- ・下水道ポンプ場跡地～「本田東公園を拡張し、仮設公園部分についても都市公園とする」
- ・旧泉幼稚園跡地～「泉文庫と樹木を活かし、保育サービス機能を有する民間の子育て支援施設及び公園として活用」
- ・中町第1・2駐輪場～「三鷹駅周辺に必要な駐輪スペースを確保した上で、民間活力の導入を含めて検討し、高度利用による土地活用を図る」
- ・八幡町コミセン移転後跡地～「公園用地として活用」
- ・西部図書館～「歴史資料館(公文書・民俗資料等)として活用する。……資料の閲覧の他、市民の利用可能なスペースを確保」
- ・桜堤児童館～「O123施設として活用」
- ・市民会館～「武蔵野プレイスの中心機能である図書館と重複する図書室を廃止し、地域開放型の集会スペースとして活用」
- ・くぬぎ園～「建替えを前提に、今後必要となる施設の検討を進める」

などです。この報告書は、現在策定中の市の『第五期基本構想・長期計画』のたたき台とされています。『第五期基本構想・長期計画』に市民の声を反映させていくために、みなさんのご意見をお寄せ下さい。

